

記入例

様式第1号（第2条関係）

鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等許可申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

複数で捕獲を実施する場合は、代表者について記入し、氏名の右側に「ほか〇名」と人数を記入してください。また、別紙「鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等許可申請者名簿」に実施者全員を記入してください。

会社等、組織として捕獲を行う場合は、会社等の住所、会社名、代表者名を記入してください。捕獲を他者から依頼された場合は、「鳥獣捕獲依頼書」の写しが必要となります。その場合、申請書は依頼書の内容と同じく作成してください。

被害等の防止の目的を達成するため、必要最小限の適切な種類及び数量としてください。複数で捕獲を行う場合は、全員分の合計を記入してください。

申請者 住所（所在地） 〇〇〇-〇〇〇〇
氏名（名称） 〇〇 〇〇
職業（代表者氏名） 〇〇〇〇
生年月日 〇〇年〇〇月〇〇日
電話番号 〇〇〇（〇〇〇） 〇〇〇〇

の採取等の許可を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並び

の規定により申請し

記

捕獲をする種類により最大期間が違います。ホームページを確認し、記入してください。

1 採取等しようとする鳥類の卵の種類及び数量	カラバト（ドバト） 50 羽・頭・個
2 捕獲等又は採取等の目的	（生活環境被害防止・農業被害防止） など
3 捕獲等又は採取等の期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日まで
4 捕獲等又は採取等の区域	（春日部市〇〇〇番地 工場敷地内） など
5 捕獲等又は採取等の方法	（捕獲箱・箱ワナ・手捕り） など
6 鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等をした後の処置	（炭酸ガスによる安楽死後、焼却処分） など
7 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第7条第1項第7号に掲げる場所、特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限区域又は猟区内において捕獲等又は採取等しようとする場合にあっては、その旨	捕獲した後の処置方法を記入してください。できる限り苦痛を与えない方法による処置にしてください。

- (注)
- 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第8項に規定する環境大臣が定める法人が申請者である場合にあっては、捕獲等又は採取等に従事する者について様式第2号により申請すること。
 - 被害者から依頼された者が複数で申請する場合にあっては、代表者を含めた全員について別紙を添付すること。
 - 狩猟免許を申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）が現に受けている場合にあっては、当該狩猟免許の種類、当該狩猟免許を与えた都道府県知事名並びに当該狩猟免許に係る狩猟免許の番号及び交付年月日を記載した別紙を添付すること。
 - 銃器を使用して捕獲等しようとする場合にあっては、当該銃器の所持について申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）が現に受けている銃砲刀剣類所持等取締法（昭和33年法律第6号）第4条第1項の規定による許可に係る許可証の番号及び交付年月日（当該許可が同項第2号の規定によるものである場合にあっては、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則（昭和33年総理府令第16号）第5条第2項に定める人命救助等に従事する者届出済証明書の番号及び交付年月日を含む。）を記載した別紙を添付すること。
 - 捕獲実施区域及び被害区域を図示した図面を添付すること。また、鳥獣保護区がある場合は、その区域も図示すること。
 - 銃器を使用する方法以外の方法を用いて鳥獣の捕獲等しようとする場合にあっては、当該方法を明らかにした図面を添付すること。